

会 議 録

1 会議名

令和3年度第8回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項（公開）

・自主的審議事項について

○その他（公開）

3 開催日時

令和3年11月9日（火）午後6時00分から午後7時30分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、小林政弘、植木節子、手塚哲夫、山本茂、下鳥治、田中睦夫、庄山健、秋山秀夫、吉田重夫、長藤豊（2人欠席）

・事務局：板倉区総合事務所 川瀬所長、高波次長（総務・地域振興グループ長兼務）、一藁次長、関根産業グループ長、大堀建設グループ長、丸山市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、小池地域振興班長、成見主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【高波次長】

・会議の開会を宣言

【平井達夫会長】

・挨拶

【川瀬所長】

- ・挨拶

【平井達夫会長】

- 4 協議事項、「自主的審議事項について」事務局から説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料1により説明

板倉区の自主的審議事項である「板倉区観光振興の明確な方向付け」については、平成25年7月から審議開始ということで過去の経過を見てみたが、実際のところ、板倉区地域協議会ではこの間、小学校の統合についての取り組みを優先し、このテーマについてはなかなか全体の審議を進めることができなかった。8年が経過し地域の状況も変わっている。昨年度委員改選で新しい委員をお迎えする中で、現在各部会でも取り組みが進められていることから、事務局としては観光振興の方向付けという大きなテーマではなく、同じ観光テーマでももっと絞り込んだ方が取り組みやすいのではないかと考えている。なお、テーマは観光に限らず各部会で取り組んでいただいている意見交換を通じて新しいテーマを挙げることもできる。本日はこのテーマを見直すことについて皆様からご協議をお願いしたい。

【平井達夫会長】

事務局の説明に対して意見のある委員の挙手を求める。

【小林政弘委員】

テーマの設定が平成25年とあるが、その当時の背景として北陸新幹線が平成27年の3月の開通を睨んで非常に大きなテーマとして設定をされたことは適切だったと思う。その後、板倉区の観光の方向性について何かまとめられていると思うが、ゑしんの里観光公社が推進役をやっていた方が良いのではないかと聞いていた。協議した内容をまとめたものがあるか。私も先回の地域協議会でゑしんの里観光公社の収支状況の説明の中で体制について質問したが、現状維持で前向きな答弁をいただけなかったと思っている。平成26年以降、どうゑしんの里観光公社の体制について協議をしてきたのかお分かりだったら教えてほしい。

【平井達夫会長】

事務局の説明を求める。

【一藁次長】

平成25年のころからどういう進め方をしてきたのか、具体的に今説明は出来ないが、今現在、ゑしんの里観光公社を主体として板倉区の中の観光について進めていかなければならないということは、事務局の方もしっかりと受け止めている。具体的にどこまで進んだのかははっきりお答え出来ないが、各団体でどう観光発信していけばよいか、SNSとかPRの仕方とかいう話は具体的に話し合っている最中である。ゑしんの里観光公社を主体にして進めていかなければならないと感じている。

【平井達夫会長】

他にないか。

【庄山健委員】

産業建設部会で話があったが、板倉区の観光をどこが引っ張っているのか、中心になっているのかと言った時に、ゑしんの里観光公社じゃないかと言ったら、現状そういう訳でもないということで、よく分からない。ゑしんの里観光公社がやるというんだったら、各団体と意思疎通を図って進めているのか。

【平井達夫会長】

事務局の説明を求める。

【一藁次長】

先ほども話をさせてもらったが、板倉区総合事務所としてもゑしんの里観光公社が主体となってという考えである。ただ、話の中でゑしんの里観光公社も人が居ない、お金がないということであり、今の段階でなかなかそこまでのことが言えない。

【平井達夫会長】

他にないか。

【下鳥治委員】

今いろいろな話が出ているが、まず板倉区の観光発信という観点から見ると板倉区にどんな歴史文化があって、どんな観光があるのか事務局側として大体把握

しているか。なお、所長にお伺いしたいが、新しい市長になったが13区の伸びしろというのはどのように考えているかちょっと教えてもらえばありがたい。

【平井達夫会長】

事務局からの説明を求める。

【一藁次長】

板倉区の歴史についてどれだけのことが分かっているのかという話だが、確かに皆さんに比べて私達がどこまで知っているのかと言われると、皆さんより知らない部分はあると思う。中村十作記念館とかゑしんの里記念館とかやすらぎ荘をどうやって繋げてPRしていくか、具体的にどうすれば良いかを考えている。

【川瀬所長】

次長の答えと被るところがあるかも知れないが、確かに私共全て知っているかと言うとなかなか分からないところがある。先日、ゑしんの里とかやすらぎ荘とか、まちづくり振興会、夢想会の皆さんと事務所と集まりを持ち、今後観光をどうしていくのかとか、発信をどうしていくのかという話をさせていただいた。切り口としてSNSを一つのツールとし、これからの時代活用していかなければいけないという事でそこから入った。当然発信するにも何を発信するのか、観光資源の掘り起こし、そこから始めなければいけないのかなと思う。例えば、やすらぎ荘とか光ヶ原高原とか多くの方から知られている既存の資源があるが、まだまだPR、発信が不足しているかもしれない。そこをSNSを通じてやっていけば良いと思う。その他に地域活動支援事業を使って例えば栗沢の桜の里か焼山城址とかいろいろあると思うし、隠れた資源、地域のお宝も認定されている。そういうものを各団体皆で集まって掘り起こし、どのようにPR・発信していくのか各々の役割の中で進めていかなければならないと思っている。

それと新市長の13区の伸びしろという事だが、私は新市長とは市議だった時に何回か話はしたことがあるが、13区の話はしたことはないし、今日登庁されたばかりで、私は市長の公約というのは紙でしか見たことがない。まだお話しも聞いた事もない。その中で確かに公約の中で地域自治が書いてあるけれども、それを具体的にどうやっていくのかというのは、今日の段階では知り得ていない。これから次第に市長の考えというのが出てくると思う。今日就任の記者会見をさ

れているが内容までは承知していない。明日になればニュースや新聞等も出てくるが、地域自治に対する思いを持っておられると思うので、新しい動きというの
も出てくるのかなと思っているところである。

【下鳥治委員】

いずれにしても13区の伸びしろというものを上手く進めて貰えば嬉しい。次長にお願いしたい。町内会長連絡協議会で町内会長さんをお願いして、皆さんの地域にどのようなお宝があるかお伺いを立てることによって良く分かるようになると思うが如何なものか。

【一藁次長】

地域協議会の中でも町内に入って行って色々な物を掘り起こすということを考えていたが、コロナでできなかった。私もやはり町内に出て行って、地域を掘り起こすのが良いのかなと思っている。

【下鳥治委員】

まず、板倉区内に何があるのかというのを事務方も私達も把握しなければなら
ないと思う。平行して色んなものを取り込んでいくことで、本当の観光の拡大、
発信、集客に繋がっていく気がするので宜しくお願いしたい。

【平井達夫会長】

他にないか。

【長藤豊委員】

今の話の中で地域の宝というのが出たが、上越市では教育委員会が昨年
から3年間に渡って地域の宝を募って公開していこうという話になっていて、
昨年市全体で60件、その内板倉区は3件。今年は26件の応募があってその
中で板倉区から6件出ていた。合わせても10件に満たない。比率は他の区
から見たら高いのかも知れないが、来年度に向けて地域に呼び掛けて募
っていくのが重要じゃないかなという気がしている。もう一つ、先程から
光ヶ原高原の話が聞こえてくるが、どうしても絡むのが公の施設の再配
置計画についてである。先日もグリーンパル光原荘の管理者をやっ
ている方が「今月いっぱいここはおしまいだ。これからはもう開く予
定がない」と話していた。今後も板倉区としては、何らかの形で光ヶ
原高原を観光の場所としていかないといけないのではないかなという気はし

ている。計画をひっくり返すというのは難しいのかも知れないが、これからでもまだ検討の余地があると考えた方がよいものなのか、どうか事務局から回答をいただきたい。

【一黨次長】

光ヶ原高原の件については、この前の地域協議会の中でも説明させていただいたところである。今のところは公の施設の再配置計画について皆さんに説明したところであり、そういう段を踏んで今そういう状況になっている。これが新市長になって観光の事を考え、全部覆るかというところは今無いです。その中でグリーンパル光原荘については今回貸付又は譲渡ということで協議を進めているが、皆さんが使いたいのであれば普通財産になっても使用は出来るが、老朽化も進んでいる中で、ここをもう一回立て直してというのは非常に現実味が無いと思う。板倉区の中でどこを残し、何が出来るかというのを協議してきた中での結論がある程度出つつある中で、それを今回の観光振興でもう一回光ヶ原高原を復活させようという話までにはいかないのかなと思っている。

【庄山健委員】

ゑしんの里観光公社から音頭を取ってもらって以外方法が無いと思う。地域活動支援事業を使った団体がいくつもあるので、集まって意見交換して、これからの板倉の観光をどうするのか議論してもらいたい。そういうことをやる気があるのか無いのか、もしあるのだったら、これから新しい市長になるので分からないが、地域活動支援事業があれば支援してやっていければ良いと思う。

【一黨次長】

先ほどからお話ししているように、ゑしんの里観光公社に主体となってやっていただければと思っているのは事実である。まだ新市長になったばかりで地域活動支援事業が継続かどうか決まっていない状態であるが、とにかく各団体と協議しながら進めていきたいと思っている。

【平井達夫会長】

他にないか。

【植木節子委員】

先日、板倉小学校の文化祭にお邪魔してきたが、その中で地域のお宝というの

があったが、やすらぎ荘とかゑしんの里とかが何も出てこないの何かちょっと寂しかった。やはり最新のガイドブックみたいなのがそろそろ必要なんじゃないかなと思った。新しい市長さんになったので今いろいろ言っても仕方が無いと思うが、今後教育の場でも板倉区のメインなところだけは子ども達にも理解していただけるようなまちづくりにしていただけるとありがたいと思った。

【一藁次長】

今の話も私としては非常に頭の痛いところで、確かにやすらぎ荘とかゑしんの里が出てこないのはPRが不足しているという考えも含めて、今後どうやって皆さんに浸透させていくかということについて考えていきたい。貴重なご意見に感謝する。

【平井達夫会長】

他にないか。

【小林政弘委員】

先ほど、歴史的な板倉区内の宝の話があったが、歴史上の偉人、増村朴斎をはじめ、中村十作、文化財も非常に多い訳である。きちっと後世に未来永劫的に継承していくためにはどうすれば良いのか考える必要がある。その受け皿や管理保存方法について、時間をかけて色んな意見を一にまとめ、きちんと後世に伝えていけるように是非お願いしたい。

【一藁次長】

今の偉人・文化財の継承についても、当然観光に関係してくることであるので、きちんと各担当部署と話しながら後世に伝えていけるようにしていきたいと思う。

【平井達夫会長】

他にないか。

【吉田重夫委員】

SNSを使って情報を観光情報を発信していくのは非常に良い事だと思う。その中で先ほどからあるようにどういう情報を載せるかというのを進めていく体制をまず作るべきじゃないか。誰がいつまでにどうするというのを描き、それをどのように進めていくということをししないと形になるのが遅れると思う。

それともう1点、板倉区の中で色々な観光資源とか歴史的な偉人がいる。細かい所まで行くと際限なく広がっていくので、ある程度のところで発信する。全部じゃなくても後からまた追加できる。大まかなところを作って進める。そういうやり方が良いと思うが如何か。

【一藁次長】

先ほどのSNSの体制作りについてであるが、10月の末に各団体若手の特にSNSに詳しい方が集まってどう進めたら良いかという話をしている。第1回目で話したが、そこでどう進めていくか、今話をしている最中である。先ほどの偉人をどこまでPRしていくのかというのも、その辺を考えながらやっていかなくてはいけないなと考えている。

【高波次長】

今議題としているところが自主的審議をどうしていこうかということで、かなり個々具体的な話、貴重な話を伺ったが、大きいテーマを少し絞り込んで如何かという観点で協議いただければと思う。

【平井達夫会長】

ただいま事務局から話があったように「板倉区の観光振興の方向付けについて」というでテーマが非常に広いということで絞り込むという提案があった。今絞り込む前の段階の論議をしているが、それは確かに色々問題点があるから皆さんの方から意見が出ている訳である。それがあっての方向性の絞り込みだと思う。観光の窓口の話について、戻るようで申し訳ないが、これまでも様々な議論があった。その中でまちづくり振興会ではないか、いやゑしんの里観光公社という名がついているじゃないかというようなことで、いろいろ論議した中で今まではゑしんの里観光公社が窓口であった。今次長から話を聞くと今の現状でもゑしんの里観光公社というような形で方向付けできているようだ。そのようなことを踏まえ、テーマの絞り込みについても協議したい。

【長藤豊委員】

今、個々の部会で話し合い、情報収集を進めているが、その中でそういった絡みの話が相当出てきていると思う。それぞれ意見交換しているものを出し合って自主的審議に繋げる形で進めていくのが良いと思う。

【平井達夫会長】

今長藤委員が言ったとおりだが、各部会についてはそういう形でよいと思う。ちょっと戻るが「板倉区の観光振興の明確な方向付け」、この絞り込み、これについてはどうするか。次の地域協議会において、テーマとして皆さんから出してテーブルに載せて、これにしようという形にするかどうか、それについて意見を頂きたい。

【長藤豊委員】

先ほども申し上げたが、各部会の意見交換で進めていただいている中にこの観光振興を細分化してやっていくような意見がたくさん出てきている気がするので、それを自主的審議にしていくのはどうか。

【平井達夫会長】

今日色々なご意見出された訳だが、次回の地域協議会において一つテーマとして出していただきたい。そこで一つ地域協議会14人のなかで絞り込むという形にしたいが如何か。

【庄山健委員】

要するに観光について自主的審議を全体とするのか、あるいは産業建設部会でするのかということか。

【平井達夫会長】

今庄山委員が言われたが、まず産業建設部会で「板倉区の観光振興の明確な方向付けについて」絞り込みをやってもらってテーマとしてここへ出していただく。各部会についても色々テーマがある訳だから、それはそれで出していただく。それで全体の14人で協議し、自主的審議事項としていこうじゃないかということだ。

【小池地域振興班長】

補足させていただきたい。平成25年の7月にこのテーマ「板倉区の観光振興の明確な方向付けについて」というのが板倉区のテーマとして挙がっている。どんなことをしてきたのかという事を見てみた。産業建設部会で話し合いがされてきたようだが、全体協議をしてきた記録がほとんどなく、前任者にも確認したが先ほど申し上げたとおり小学校の問題を優先させてきたということであった。現

在新しい委員さんをお迎えして各部会で改めて地域の課題を掘り起こしているということで、このテーマをいったん取り下げるといふかリニューアルといふか、新しいテーマを挙げてもらえないかという思いで今回提案させていただいた。他の区を見ていただくと何も挙がっていない区があるが、何も挙がっていない区は何もしてないのではなく、今、地域の課題を一生懸命探っている状況である。また複数テーマが挙がっている区もある。これは各部会で挙げていったものに取り組んでいるということになっている。一つじゃなくて二つでも三つでもといふところは各区に委ねられている。この大きな問題について後2年ちょっとの任期の中で取り組みづらいつころがあるのかなと事務局も考えている。他の区のテーマを見ていただくともう少し絞り込んだところもあるので提案させていただいた。あまり全体会でも話が進んでこなかったという経緯もあり、このテーマについてどうするかといふ協議をお願いしたい。

【田中睦夫委員】

観光関係については産業建設部会が主体になろうかと思ふが、長藤委員が言われたように各部会の課題を発表してもらって、その中で全体で協議していく必要があるものについてはそういう取組みで進めていくといふ方向で良いのかなと思っている。産業建設部会ではやすらぎ荘と意見交換を行った。そのことについては是非全体会議の中で進めて取組んでいきたいといふ方向付けになっている。

【平井達夫会長】

他にないか。

【植木節子委員】

やはり地域の皆さんの意見を聞かないと分からないのかなと思ふ。町内会長さんとの意見交換会でも良いが、私達だけで勝手に走っていても方向性が間違っていると労力が無駄かなと思ふ。丁度コロナも落ち着いているので皆さんと意見交換会を計画していただければ、また今後も良い話し合いが出来るんじゃないか。新市長さんになったので、事務局も大変だと思ふが、出来ればみなさんの意見を聞きたいと思っている。

【高波次長】

コロナの状況といふのはあるが、今迄の話の中で整理をさせていただくと、

まずは部会の方から全体会に挙げる題出しをしましょうということになっている。6地区に出ていくというのは来年度になってしまうのかもしれないが、ただその中で新たなテーマが出てきたら、また新たなテーマとして取組めるのかなど思っている。あまりに幅を広げ過ぎると議論が深まらない可能性も懸念されるので、まずは今動いている部会の頭出しを優先した中で全体会の方に上げていただいて、どの項目を自主的審議としたら良いのかという事を協議していただければ良いと思う。

【平井達夫会長】

事務局の方からも話があったように部会の方で一応揉んでいただいて、次回の地域協議会の方に部会の問題を出していただくということでしょうか。

【長藤豊委員】

例えば、光ヶ原高原ファン倶楽部とかやすらぎ荘とか意見交換されている。そこから出てきた課題はこれよりも狭い範囲が出てきていると思うので、細かく分けて審議したらどうかと、事務局が言っていると思う。これまでの意見交換で出てきたことを出していただいた中で、観光に絡むものがあつたら今現在の自主的審議事項を切り替えてやっていくという形で良いと思う。

【平井達夫会長】

そういうことである。大きなテーマを絞り込むという形からするとそれが正しいのではないかと思う。他に意見はないか。

(意見なし)

では一応出尽くしたようなので、自主的審議事項「板倉区の観光振興の明確な方向付けについて」は再度検討して新しいテーマという形で次回の協議会に一つ出していただきたい。

それでは続いて現在、産業建設部会を始め各部会で意見交換をやって地域の問題点の掘り起こしを行っていると思うが、まず各部会の座長から部会の活動報告、現状について報告をいただきたいと思う。他の分野のテーマにも繋げていければと考えている。まずは産業建設部会の報告を求める。

【田中睦夫委員】

10月28日に産業建設部会を開いた。やすらぎ荘の支配人と、委員5人全員、

総合事務所からは関根G長を始め3名出席していただいた。まず意見交換という事で問題点の発掘に繋がればと思って第1回目を開いたが、当然結論は出ない。大まかに意見交換の中身を説明させていただく。まず、やすらぎ荘の支配人からは入館者の実績について説明をいただいた。結論としては昨年からコロナの影響が続いており全体的に大きく利用者が減少している。また地元の利用者が少ない。これは特に板倉に絞った場合に少ないという様な言い方である。データはいただいているが、確かに数字で見ても少ない感じである。オープン当初は月間で約6,500人位の利用があったが現在は約2,600人位と約3分の1位に減少しているという実態だそうだ。これに基づいてそれぞれの委員から質問、対応等意見交換をしたが、例えば、地域との連携をどう考えるか、他の団体と連携した取り組みを考える必要があるんじゃないか、マンネリ化しているんじゃないか、風呂と食事をセットにして営業するというのが良いんじゃないか、ふれあい祭りを活用する、従業員同士でこの状態をどう乗り切ろうという話し合いはしているのかという様な様々な意見や質問が出た。意見交換なので、それについてやりとりをしたが、結果として我々部会だけではなくてこの全体の14名のメンバー、地域協議会としてどう取り組むかという議論、方向付けが必要ではということが終わっている。

【平井達夫会長】

次に、健康福祉部会の報告を求める。

【小林政弘委員】

健康福祉部会を10月26日に行った。9月28日に実施した民生委員児童委員協議会役員との意見交換会での内容を振り返り、委員同士で課題について意見交換を行った。意見集約をきちんとして課題の整理、今後の方向性を次回の会議で検討させていただくという事で10月26日は終わっている。部会としてのテーマの設定の目的は弱者、高齢者に目を向けた思いやりの支援が出来るような仕組みづくりを検討するという事で進めてきている。先般の民生委員児童委員協議会役員との意見交換で、ある程度の課題も見えてきている。その中で民生委員の活動範囲や役割が地域と非常に密接に関わってきているので、地域の安心安全を守る観点から町内会長あるいは防災士との連携が大変重要であるとの認識で、次回の会議で具体的な方向性について検討して前進できればと考えているところである。

【平井達夫会長】

次に、地域振興部会の報告を求める。

【長藤豊委員】

当部会としては前回の地域協議会で申し上げたとおり、意見交換の相手としては振興会を考慮しており、板倉ふれあいまつり後に設定することにした。まだふれあいまつりが終わったばかりなので、今後振興会と話し合っけて決めていきたい。

【平井達夫会長】

ただいま各部会から説明があった。新しいテーマは次回以降の地域協議会で決めていきたいと思う。ただいまの説明及び新しいテーマについて質問がある方は挙手をお願いします。

(意見なし)

それでは新しいテーマについては次回以降の地域協議会で再度協議したいと思う。次にその他、視察研修について事務局から説明を求める。

【小池地域振興班長】

10月21日に、頸城区へ視察研修に行き、いろいろな体験やお話しをお聞きすることができ、有意義な研修になったかと思う。行程としては頸城区大池いこいの森ビジターセンターで頸城区観光協会の取組みについて説明を受け、NPO法人頸城区観光協会設立の経緯やキャンプ場の運営について地域が協力し合っけてやっけているという話を聞いた。また次の坂口記念館では館長から坂口謹一郎の功績についてお話しを伺った。それから、くびき野レールパークでは軽便鉄道の試乗をさせていただいたり、NPO法人くびきのお宝のこす会の活動について色々なお話しをお聞きすることが出来た。委員のみなさまから感想をいただいているので報告書にまとめさせていただき、頸城区の方にも報告させていただく。

【平井達夫会長】

視察研修について意見のある委員の挙手を求める。

(意見なし)

それでは、それではこの件については終了とする。事務局から他にないか。

【小池地域振興班長】

- ・地域協議会4区合同研修について、12月10日の日程を説明

【平井達夫会長】

事務局から説明があったが4区の研修会について皆さんの方で予定しておいていただきたい。前はコロナで中止になったが4区の研修会は持ち回りで今回は中郷区ということである。

・次回の地域協議会については12月21日に決定
委員から他にないか。

【手塚哲夫委員】

地元の方から要望もあるので一つお聞きしたいと思うが、4年前の平成29年10月に台風の影響で上越地方の中で特に板倉区に集中豪雨があり、その中でも筒方地区、寺野地区の山間部の方が被害が甚大で、寺野地区でも住宅の裏山とか道路への土砂崩落での通行止めとか、畦畔とか用水路の崩落とかいろいろな所で被害が発生した。幸いにも行政の方の素早い対応で復旧されたことには感謝している。それで、それに関連してお聞きしたいが柄山という集落がご存じか。その上に今はやってないが釣り堀があった。その上の方に妙高市長沢の方からずっと通行出来て黒倉山を通過して光ヶ原高原の方へ行く道がある。その林道の板倉区の方で3箇所か、4箇所崩落している。妙高市の方はいろいろと重機を上げたり骨材を上げたりという事で復旧作業をやっているが、板倉区においては入口からずっとバリケードを張っていて通行が出来ない状態である。確かに通行量は少ないかも知れないが、投資効果の観点から取組みは遅れ遅れになっていると思う。復旧の考え方とか進捗状況とかそういうものがもし分かれば教えていただければと思う。それと林道の両脇の枝が道路に出ていて見通しが悪い所もある。その辺の所は業者の方が入ってやっていると思うがどうなっているのか。それと山間地へ行くと集落間の道路の脇の草刈とか行政でやってもらっているが、それは1年に1回くらいなものか、そういうものも含めてお聞きしたい。

【平井達夫会長】

事務局の説明を求める。

【一薫次長】

詳しいことは、今ここですぐにお答え出来ないが、お話しがあったとおり林道にしても市道にしても草刈は委託しており、年1回あるいは2回刈るような形で動い

ているところである。崩落してそのままになっているという所については、またお調べして手塚委員に報告させていただく。

【平井達夫会長】

他にないか。

【植木節子委員】

宮島地内の別所川も崩れている所があるが、そちらも現在どんな状況なのか教えていただけるとありがたい。

【一薫次長】

それについても今答えられないので、後で植木委員にお伝えさせていただく。

【平井達夫会長】

他にないか。

【長藤豊委員】

先日議会報告の中で橋本議員が質問された答弁の様子が載っていたが、採石場に県外から産業廃棄物が持ち込まれているようだという事で、実際県が確認して、持ち込みを停止させているというような答弁があったと思う。同じようなことが宮島地内でも起きているのではないか、出来れば確認していただきたい。

【川瀬所長】

橋本議員が質問されたのは宮島地内の話である。

【一薫次長】

今私どもが情報として持っているのは、今の段階では土砂を入れるというのは止まっているということ。少し前に町内会と地主、事業者、県と話し合いが持たれ、事業者から産廃とかそういうものが混ざっていない土砂を持ってきて、計画通りの高さに盛り、今入っている産廃についても処分するという話し合いを行っている。市もその説明会に参加して話を聞いている。その計画を県が確認して、もし地主のOKが出れば再開するという話は聞いているが、まだ確かな計画が出てきていないので止まっている状況である。そういうものが出てくればまた再開されるという話は聞いている。

【平井達夫会長】

他にないか。

【小林政弘委員】

板倉小学校の混乗型バスの運行状況について質問させていただきたいが、半年を過ぎて、これから積雪降雪期を迎え安心安全を確保する上で何か改善点等について把握されているか。

【平井達夫会長】

事務局からの説明を求める。

【高波次長】

市営バスはこの4月からである。4月から運行するにあたって昨年の大雪の中、何回か実際に試走してみて問題ないかという点検を行っている。また、秋に運行業者や県に、今年もまた大雪になるかも知れないと懸念した中で予め申し入れをし、きちんと対応するという言葉をいただいている。また事務所としても運行ルートを実際目で所長を始め私も一緒に確認に行くことにしており、漏れ落ちないように対応していきたいと思っている。

【平井達夫会長】

他にないか。

(意見なし)

- ・会議録の確認を手塚委員に依頼

【古川政繁副会長】

- ・挨拶

【高波次長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

板倉区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL0255-78-2141 (内線123)

E-mail:itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。